

同窓生のコラム



「国連の仕事」

高41回 伊藤 誠治



2006年から2013年の約7年間、ニューヨークの国際連合本部の国連職員として、国連「水と衛生に関する諮問委員会」の事務局を務めました。

○国連「水と衛生に関する諮問委員会」

この諮問委員会は世界の水問題を解決し、貧困の根絶と持続可能な発展の達成という目標に貢献することを目的としてアン元国連事務総長により設立された組織です。

橋本龍太郎元総理が初代議長を、その後ウイリアム・アレキサンダー皇太子殿下（現オランダ国王陛下）が議長を務められました。幅広い分野の著名人、専門家、約20人の委員とともに、政府やメディア、民間企業、非政府組織と協働しながら、ミレニアム開発目標の達成、現在、世界の目標となっている持続可能な開発目標（SDGs）を定め

るための活動を行いました。

○国連での仕事

主な仕事は委員の活動を支援するため科学、技術的な調査・分析、各国代表部との折衝、国際会議への参加に加え、自ら国際会議の企画運営を行いました。2013年3月には「水と災害に関する特別会合」を開催し、東日本大震災やタイの洪水被害などの経験を世界に発信し、諮問委員会の名誉総裁を務められていた日本の皇太子殿下（現天皇陛下）にご臨席、基調講演を頂きました。



国連の仕事はこのような華やかな仕事ばかりではありません。日本の省庁以上に縦割りで官僚的な組織で、何をするにも調整ばかりで、ほとんどが関係部局に対して説明するための資料を作っている毎日でした。

○職場と裏話

上司はフランス人、同僚はカナダ人、オランダ人、ドイツ人と一緒に働きました。NYだけでも国連加盟193カ国から約1万人の国連職員がいて、女性が多いというのが特徴です。私の在籍期間の最後は潘基文

多様性が活かされる社会に

高52回 丸山 文



私は県陵英語科を卒業し、米に留学しました。

その後、大学院で専攻したソーシアルワークの免許を米国で取得し、ソーシアルワーカーとして、移民・難民に対する福祉の仕事に米国と日本で10数年関わっています。

ソーシアルワーカーとは、日本という社会福祉士であり、移民・難民に対する福祉の実践は、多文化共生や多様性に関わ

前国連事務総長の任期終盤で次期国連事務総長を誰にするか、加盟各国のせめぎ合いを目にしました。当時聞いた名前ではない、グテーレス氏が事務総長に選出されたのは本当に驚きました。

夏休み期間には日本からも高校生が国連を見学に来るので、施設の内や国連での仕事内容を説明することもありました。当時、縣陵の後輩たちが国連を見る機会があればいいと思っていました。国連や国際機関で働くことを目指す卒業生がいれば、お役に立てればと思います。

る活動として日本では知られていません。自分の仕事は、米国では特別な職業チヨイスではありませんが、日本ではまだメジャーな職種とは言えません。自分の職種がまだメジャーでないからこそ、この地で働くことに県陵卒業生としてのチャレンジ精神が掻き立てられるのだと思います。

米国のような移民国家と違い、

手づくり朝食と大浴場が人気のホテル

松本ツーリストホテル
Matsumoto Tourist Hotel

全日本シティホテル連盟会員・政府登録

縣 正長 (高17回)
縣 秀享 (高23回)

〒390-0815 長野県松本市深志2丁目4-24
TEL 0263-33-9000 FAX 0263-36-6435
<http://www.trist.co.jp/>

県陵税理士会

会長 百瀬征男(高16回)

関東信越税理士会 松本支部所属
会長以下 29名

発足以来31年、毎年8月定期総会、研修・親睦に団結力は強く、研鑽に励んでいます。

割烹 かつぼう

勇屋会館

丸山庄一(高15回)三八会
丸山英樹(高43回)

安曇野市豊科4480-12